

「減災授業」をしました・・・5年生(2月17日) 6年生(2月18日)

先日、東北地方で大きな地震がありました。また、和歌山県でも和歌山市で震度4を記録する地震がありました。これらを受けて、地震が発生したり台風が接近したりしたとしても、被害を防い(防災)だり被害を少なく(減災)しようとする心情を身につけることをねらって授業をしました。



〔児童の感想〕

- 日本は地震が起きやすい国だと改めて分かったので、地震に備えておかななくてはいけないと思いました。
- 近い将来に発生すると言われていた大地震のこわさが分かりました。だから家でもしっかりと備えておきたいと思いました。
- 僕が住んでいる紀の川市の近くに中央構造線があると知りました。今日、習ったことをいかして少しでも被害を小さくするために、たんすや本棚などの家具が倒れないか点検して、あぶなそうなものは固定したいと思いました。
- 今日の授業で、地震はこわく、あぶないからこそ、日ごろから準備しておくことが大切だと思いました。一人一人が準備をすることで、救える命は増えると思いました。
- 地震が起きたときのためにハザードマップを確認したり、非常食を用意したりしておきたいです。
- 地震が起きる前に避難のことを考えておくと、パニックにならず冷静に行動できると思いました。
- 地震の恐ろしさを知ったので、家に帰ったら対策をしようと思いました。
- 今、私たちにできることを考えて、地震に備えたいです。
- 地震に備えて、防災グッズや避難場所を決めておこうと思いました。
- いつ地震が起きてもいいように、家で家族と一っしょに災害への備えをしたいです。
- 地震が起きる前に備えておけば、すぐに避難できることが分かりました。
- 地震から身を守るためには、日ごろから備えをすることが大事だと分かりました。
- 地震がおきるのを止めることはできないから、できるかぎりのことをしておこうと思いました。
- 私だけが安全でもだめなので、お母さん、お父さん、お兄ちゃんと話し合いたいと思いました。